

日本共産党 池田ファンクラブ・ニュース **あした天気にな~れ**

134号

2012年12月

部內資料

発行責任者 太田 効 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)

選挙の結果は、新しい政治を託されながらその期待をことごとく裏切つてきた民主党は、230議席から57議席と大幅に後退、国民党から強烈なしつぺがえしを受けました。

しかし、大勝した自民党も

さらに、国民の半数が投票先を決めてないとしながら、選挙開始早々から自民圧勝と議席予想をしたその結果が低投票率の一因になつたことは否めません。

そんななか日本共産党は、1議席は後退しましたが、2年前の参院選より比例で120万票支持を増やしました。

池田町でも176票増、低投票率のなか前回衆院選より得票数は減らしたもののが、得

総選挙の結果について

日本共産党池田支部支部長
山本久子

12月16日行われた衆院選に
対し、日本共産党にご支持を
いただいたファンクラブとニ
ュース読者のみなさんに心か
ら感謝申し上げます。

る自民党型政治が崩壊的危機に陥るもとで国民のみなさんが、新しい政治を求め、模索する途上で選挙でした。

日本共産党は、消費税、原発、TPP、基地、領土など各分野の改革ビジョンを示し、議席倍増をめざしましたが、残念ながら9議席から8議席へ後退しました。情勢が求める躍進をはたせなかつた責任を痛感しています。

さらに、国民の半数が投票先を決めてないとしながら、選挙開始早々から自民圧勝と議席予想をしたその結果が低投票率の一因になつたことは否

右寄りの勢力が台頭してきました。絶対阻止しなければならない憲法改正の危険な動きもあります。

消費税増税、原発依存、TPP交渉参加などの課題は早晚ゆきずまりは必死です。

私たちは政治を根本から変えるため、来年の参院選にかけて知恵と力を総結集します。みなさんの力強いご支援を心からお願ひいたします。

家チームは、14日停止中の東北電力東通原発（青森県東通村）の敷地内にある破碎帯（断層）を調査した結果、5人全員が「活断層」の可能性を指摘した。▼つい先日は日本原子力発電敦賀原発（福井県）の原子炉直下に活断層があると判断され、再稼働は不可能になることが濃厚と報じられたばかりだ。さらに北陸電力志賀（石川県）関西電力美浜、原研機構もんじゅ（福井県）でも、規制委による活断層調査が実施される予定だ。▼しかし最も重大な問題は、国内で唯一再稼働が強行された関西電力大飯原発（福井県おおい町）における断層が、11月行われた同専門家チームの現地調査において「活断層の可能性」と認識されたことだ。▼東洋大学教授渡辺満久委員は「原発の最重要施設の直下に活断層が存在する。見落とされたのは関電の不適切すぎる調査結果によるもの。追加調査するなら、原子炉を停止してすべてを調べなおすべきだ」と主張している。政権がどのように変わつても危険なものは危険、大飯原発は直ちに停止



ありがため田畠の意見
を聞く考へはない

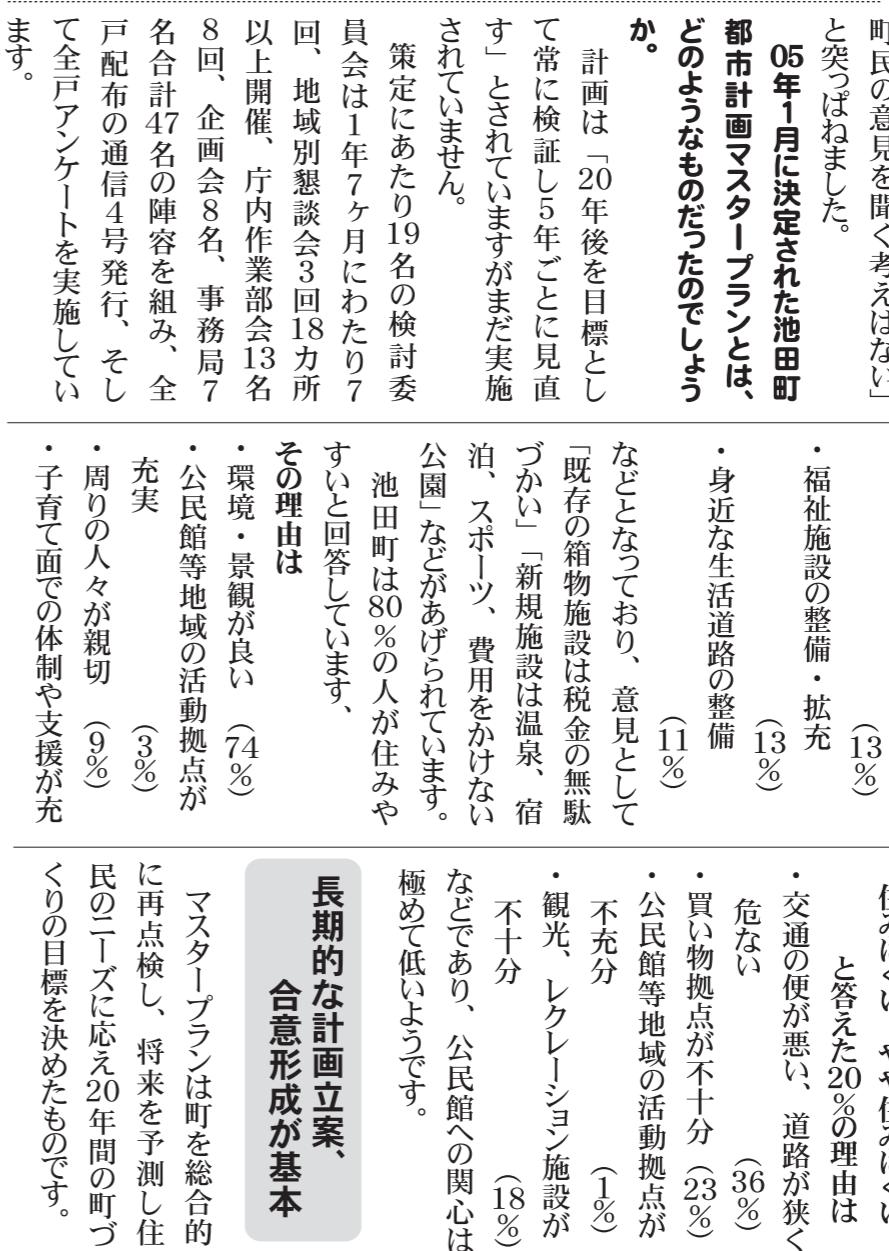
12月17日に町議会一般質問が行われ、社会資本総合整備計画（まちなか再生事業）について、薄井議員はじめ3名の議員が質問を行いました。勝山町長は松電撤退が最終決定されていないにもかかわらず、「アップルランド跡地に公民館を建てる」ことを既成事実であるかのような回答を行いました。

公民館を建てる

アンケート結果を振り返ると

A black and white photograph showing a corner of a modern building. The building has a light-colored, possibly white, facade. On the left, there is a cantilevered balcony supported by a thick vertical column. A circular window is set into the side of this balcony. To the right, there is a lower level with a small entrance and a set of stairs leading down. The sky above is overcast with some clouds.

池田町公民館



長期的な計画立案 合意形成が基本

マスター・プランは町を総合的に再点検し、将来を予測し住民のニーズに応え20年間の町づくりの目標を決めたものです。

第5次総合語画と熙政
問題は次号に掲載します。

されていきます。これに基いて具体的な実施計画は、さらに住民参加と合意が必要なことは当然のことです。

合意形成へと進めていく考え方です」としています。

を現段階からもち、地域の意向を聞きながら必要な調査等を実施し、徐々に計画立案、

図は「中心部の整備には、様々
な調整や合意が必要となり、
多くの費用や時間を要します。
長期的な市街地整備の構想

人口が中心部からの流出で、高齢化、地域の沈滞化などを懸念し、新たな居住者の積極的受け入れ、優先的な生活環境整備、子育て支援の向上を掲げています。そして①快適居住創出プロジェクト、②産業雇用創出プロジェクト、③美しい町じっくり満喫プロジェクトを展開させる方針です。